

			厚生常任委員会
請願番号	請願第2号	受理年月日	平成27年9月14日
請願の件名	<p>子どもの医療費無料化を中学校卒業まで引き上げることを求める請願</p> <p><b>【請願の趣旨】</b>          総務省が今年の『子どもの日』に合わせて発表した15歳未満の子どもの推計人口は、前年より16万人少ない1617万人で、1982年から34年連続の減少となり、少子化の進行に歯止めがかからない実態が改めて浮き彫りになっています。現在、子どもの貧困が大問題になっており、政府の調査でも6人にひとりの子どもが貧困状態にあると言われています。貧困状態におかれた子どもたちは、食事も満足にとれず、病気になっても十分な治療が受けられないなど健康が脅かされています。子どもの将来がその生まれ育った環境で左右されず、どの子ども等しく治療を受けられる環境をつくることは政治の責任ではないでしょうか。          子どもが病気にかかったとき、お金の心配なく病院にいける事は、早期発見・早期治療につながり、重症化を防ぎ、さらには医療費の軽減にもなります。          県の『乳幼児医療費助成事業の助成状況(平成27年4月1日現在)』調査によると、県内でもすでに、入院では中学校卒業までが12自治体、小学校卒業までが7自治体で、通院でも、中学校卒業までが8自治体、小学校卒業までが4自治体で実施されています。新富町では高校卒業まで入院・通院ともに助成が始まるなど、県内でも無料化の動きが広がっています。          子どもは未来の社会を作り支えていく宝です。子どもの医療費を保障することは、大きな子育て支援となります。宮崎県においても、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、中学校卒業までの医療費を無料にさせていただきたく、請願します。</p> <p><b>【請願事項】</b>          1. 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすること          2. 子どもの医療費無料化を国の制度とするよう、国への意見書を提出すること</p>		
紹介議員	来住 一人 満行 潤一 前屋敷 恵美		
摘要			